

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



HGM002-P02

会場:コンベンションホール

時間:5月24日 16:15-18:45

西ジャワ, バンドン盆地南西縁における地形発達が農業景観の差異に与える影響 Geomorphic development in a basin fringe in West Java and its effect on agro-landscape differentiation

田村 俊和^{1*}, 大久保 悟², 原科幸爾³, チャイ アスダック⁴, 武内和彦⁵
Toshikazu Tamura^{1*}, Satoru Okubo², Koji Harashina³, Chay Asdak⁴, Kazuhiko Takeuchi⁵

¹ 立正大学地球環境科学部, ² 東京大学大学院農学生命科学研究科, ³ 岩手大学農学部, ⁴ パジャジャラン大学生態学研究所,
⁵ 東京大学大学院農学生命科学研究科

¹Geo-environmental Science, Rissho Univ., ²Univ. Tokyo, ³Iwate Univ., ⁴Padjajaran Univ., ⁵Univ. Tokyo

西ジャワ, バンドン盆地の南西縁では, 盆地底に連なる小扇状地の背後に, 新第三系火山岩・火砕岩が侵食された丘陵地と, それに覆いかぶさる中期(?)更新世の開析された火山が連なっている. このような地形の配置が形成されてきた過程を発達史的に考察した. この地域には, タケ栽培を組み込んだ特異な輪作で特徴づけられる伝統的な農耕が, 他の耕作様式とすみ分ける形で残っていて, 湿潤熱帯傾斜地でのサステナブルな土地利用の一つとして注目されている. その存続に関わる地形条件(表層地質や水文の条件も含む)の地域的差異を調べ, その差異を作り出した地形発達史との関係について検討した. その結果, 開析史を反映した, 局地的急斜部をともなう複雑な斜面が, 広域的な伐採を要する耕作方式にとって阻害要因になる一方, 小規模な水源を多数確保して, こまごまとした耕作の場を提供していることが窺われた.

キーワード: 熱帯, 丘陵地, 古期火山, 地形発達, 農業景観, ジャワ島

Keywords: Tropics, Hills, Old volcano, Geomorphic development, Agricultural landscape, Java